

市民助け合いネット

# 仲間通信

〔第49号〕

発行

NPO法人

市民助け合いネット

代表 鎌倉 常雄  
〒270-0123 流山市若葉台3-131  
☎ 04-7153-5733

私たちの仲間

令和7年4月末現在  
総数 1,102名  
内訳  
提供会員 389名  
利用会員 713名

## 新役員体制と担当について

役員名	担当	氏名
理事代表	法人代表、事業統括	鎌倉 常雄
理事	事務局長、行政事業統括	佐々木 巧
理事	行政協働事業	札幌 政行
理事	行政協働事業	古谷 巖
理事	えがお事業	高田 吉治
理事	リフォーム事業	森 光雄
理事	リフォーム事業	前田 貞光
理事	助け合い事業	山川 明日美
理事	助け合い事業	吉川 恵美子
監事	事業・会計監査	永塚 治夫
監事	事業・会計監査	弘田 娃子



# 人生百年時代を豊かに生きるために

令和七年五月三十日(金)

にふれあいの家「えがお」に於いて令和六年度社員総会を開催し令和六年度事業報告と決算報告並びに令和七年度の事業計画と事業予算が満場一致で承認されました。

また定期総会において役員改選を行い、左表のとおり役員が選任されました。

今回の改選で副代表の弘田娃子氏、理事の三木雅子氏、菅野文夫氏、監事の朝妻和俊氏が退任されました。

長きにわたり市民助け合いネットの活動に尽力いただきまして誠にありがとうございます。感謝申し上げます。新たに吉川恵美子氏を理事に迎え、弘田娃子氏には引き続き監事として協力いただきます。理事、監事、力を合わせ頑張ってください。また、皆様のご支援、ご協力、ご支援よろしくお願いいたします。



## 理事代表挨拶

鎌倉常雄

会員の皆さまにおかれましては、いかがお過ごしでしょうか？市民助け合いネットは創立二十二年度の活動をスタートいたしました。スタート早々、電力料金をはじめとする公共料金や燃料代など諸物価高騰により私どもの屋台骨を揺るがす大きな財務上の課題を突き付けられています。

ご存じのように当法人は、高齢者の日常生活の困り事に介護保険の制約に縛られることなく利用会員の助っ人依頼に可能な限りに応える助け合い活動を行っています。

反面、公的な支援・助成を受けていないため活動資金の確保は公民館をはじめ行政の受託事業等に頼っています。公民館の受託は、公募により最適な管理を実施し、且つ市民に有効に利用してもらう運営を提案し、コンペを経て受託しています。

受託期間は五年間で、この期間は「長期債務行為」と呼ばれる制度で予想を上回る最低賃金の上昇や想定外の物価高騰などによるコスト上昇に容易にに応じてもらえない制度になっています。

当法人はコロナ禍以降、厳しい組織運営を強いられ、辛うじて経費削減努力、皆さまからの寄付金等で支え

られている状況にあります。したがって当面、厳しい運営を覚悟しなければなりません。経費削減、新規事業や重点サービスの強化などの施策で収益改善を図りたいと考えておりますが活動を継続させるためには財務を健全化することが必須です。会員の皆さまには当法人の窮状をご賢察賜り、寄付による支援をお願いしていきたく思います。

さて、冒頭から厳しい現況を報告しましたが助け合い活動、元気シニア活動は高齢化が益々進行する現在、無くてはならない活動であり、我が国の長寿社会を見据えた「人生百年時代を豊かに生きる」ために市民助け合いネットも新しい視点に立つて柔軟に対応できる組織と活動に取り組んでまいります。

喫緊の課題は、次世代に繋げる担い手の確保、組織の活性化です。ここ数年、時代の趨勢で就業年齢が上がっていることや七十歳を過ぎても働く方が増え、ボランティア活動への参加機会が減って、担い手の確保が難しい時代になっています。担い手の確保は、日常の呼びかけやセミナーなどを地道に取り組んでいかなければなりません。

幸い長く貢献していただいている提供会員の皆さんが今も元気にボランティア活動に精力的に取り組んでいただ

## 昨年度活動実績

令和六年度の助け合い活動件数は左表のとおりです。

コロナ明けの令和五年度に比べて件数は四百四十四件(十%)減っており、外出支援(車・人)が前年度から二百十件減っています。原因として考えられることとして在宅医療・介護施設入所者が増えたことがあげられます。

いわゆる「高齢者の更なる高齢化」が進んだことが考えられます。またコロナ禍でしばらく控えていた部屋のお片づけなど家事支援は、周知不足が考えられます。

サービス種別	実績件数	(比率)
ア. 外出支援(車)	2,978	79.7
イ. 対人支援	124	3.3
ウ. 家事支援	201	5.5
エ. 庭の手入れ	177	4.7
オ. 犬の散歩	139	3.7
カ. その他	117	3.1
合計	3,736	100%

# 令和6年度 活動報告

## 助け合い活動

会員数は、前年と変化ありませんが退会と入会者がそれぞれ五十九名ありました。

助け合い活動件数は、一面で報告したとおり全体的に減少しています。特に車による送迎と付き添いが減少しており、「高齢者の更なる高齢化」が進行して、在宅医療・訪問介護にシフトしている傾向が増えていることが考えられます。

またコロナ禍で自粛していた部屋の片づけ掃除などの家事支援の依頼が伸びていないことも一因として考えられます。今後、家事支援の依頼に応えていきたいと考えています。

## ふれあい活動

ふれあいの家「えがお」は、利用者が年間で五千九百三十二名を数え過去最高となりました。えがお利用者がオーブンから十一年で五万人に達し、五万人達成をみんなで祝いました。

創立二十周年記念事業として六月にスタートしておたかの森ホールに於いて日頃、えがおの音楽イベントでお世話になっている音楽グループ十四組を招聘し「第三回えがお音楽祭」を開催しました。また四月初旬、花見バス旅行（を実施し、権現堂公園で花見を楽しみその後、首都圏外郭放水路…別名II地下神殿を見学しました。今後、史跡見学、各種ミュージアム見学など野外イベントを増やして行きたいと思えます。



写真上：花見バス旅行(権現堂公園)  
写真右：えがお利用者5万人達成



## 日常生活の助け合い活動のご紹介

ご高齢の方、障がいのある方の日常生活のお困りごとを支援する助け合い活動を紹介します。お困り時は、市民助け合いネットに連絡ください。

- ①車による外出支援
- ②お付き添い
- ③犬の散歩



- ④お買い物支援



- ⑤部屋のお掃除、家事支援



- ⑥庭木の剪定・草刈り



依頼が殺到しています。当面お受けすることが出来ません。  
**剪定作業が出来る人大募集中です！**



- ⑦障子、網戸、壁紙張り替え



- ⑧床の張り替え



保育園、幼稚園および小学校低学年を対象に18施設、延べ1787人の子ども達に横断歩道の正しい渡り方や交通安全の大切さを易しくそして楽しく指導しました。



### 交通安全教室



●高年齢者外出支援  
流山市の高年齢者福祉政策の一環で外出困難者向けの車による外出支援サービスを受託しています。令和六年度は延べ八百六十人の方を支援しました。車による外出支援活動に対し登録運転者三十名で運行しています。

### 行政からの受託事業

### ●公民館の管理運営

流山市の「初石公民館」と「南流山センター」を指定管理者として管理・運営を任されています。令和六年度の利用者は両公民館合わせて十八万人超となり昨年度から大幅に増加しました。

コロナ禍以降、利用者が激減していましたが令和六年度は、コロナ禍以前の利用規模に戻ってきました。自主活動は、多世代交流や子供向けイベントを中心に自治会、地域包括支援センターおよび市民団体と協働で取り組み、地域活性化の一助となる成果が上がってきました。

なお、助け合い活動及び元気シニア活動継続のための運営資金は、両公民館が支えてきましたが六年度は、最低賃金、公共料金並びに諸物価高騰の影響で管理費用が大幅増となり市民助け合いネット全体で大幅な赤字決算となりました。損益対策について流山市にもお願いしておりますが引き続き経費削減施策に取り組む必要があります。

### 事務所からのお知らせ

- 助け合い活動は提供会員のボランティアに支えられています。利用・提供会員さんとも「二人喜ぶ活動」を大切にしています。
- 生活支援の依頼は、遅くとも1週間前をお願いします。急な依頼、当日の依頼は出来るだけ避けていただけるようご協力ください。
- 8月13日(水)～8月17日(日)は、お盆休みとさせていただきます。